

**【現状】
(第12次計画)**

【国の基本指針 (案)】

**【今後の方向性】
(第13次計画)**

特定計画の管理目標

- ・ 現状の評価 (生息頭数・農林業被害額)
- ・ 目標達成のための基本的な考え方

目的達成のため、数値等で具体的に評価可能な目標を設定。

・ 「生息分布の見える化」と「指標の可視化」を用いた特定計画の策定

・ 生息環境に応じた捕獲対策 (継続・拡充していく取組①)

ツキノワグマ等の錯誤捕獲を防止
(有害鳥獣捕獲については、規制の対象外)

錯誤捕獲防止のため、情報収集を進め、必要に応じわなの規制見直しを図る。

・ 錯誤捕獲に関する情報を収集

・ 好事例 (設置場所・時期・構造等の工夫) について、全県で情報を共有

捕獲者の確保及び育成を図るため、PRや研修等を実施

狩猟免許の取得促進のみならず、十分な捕獲技術をもった人材の育成を進める。

人口減少社会を見据えた高度な捕獲技術を有した人材の育成 (継続・拡充していく取組②)

感染症については、鳥獣保護の観点から情報収集に努め、必要に応じて調査を実施。

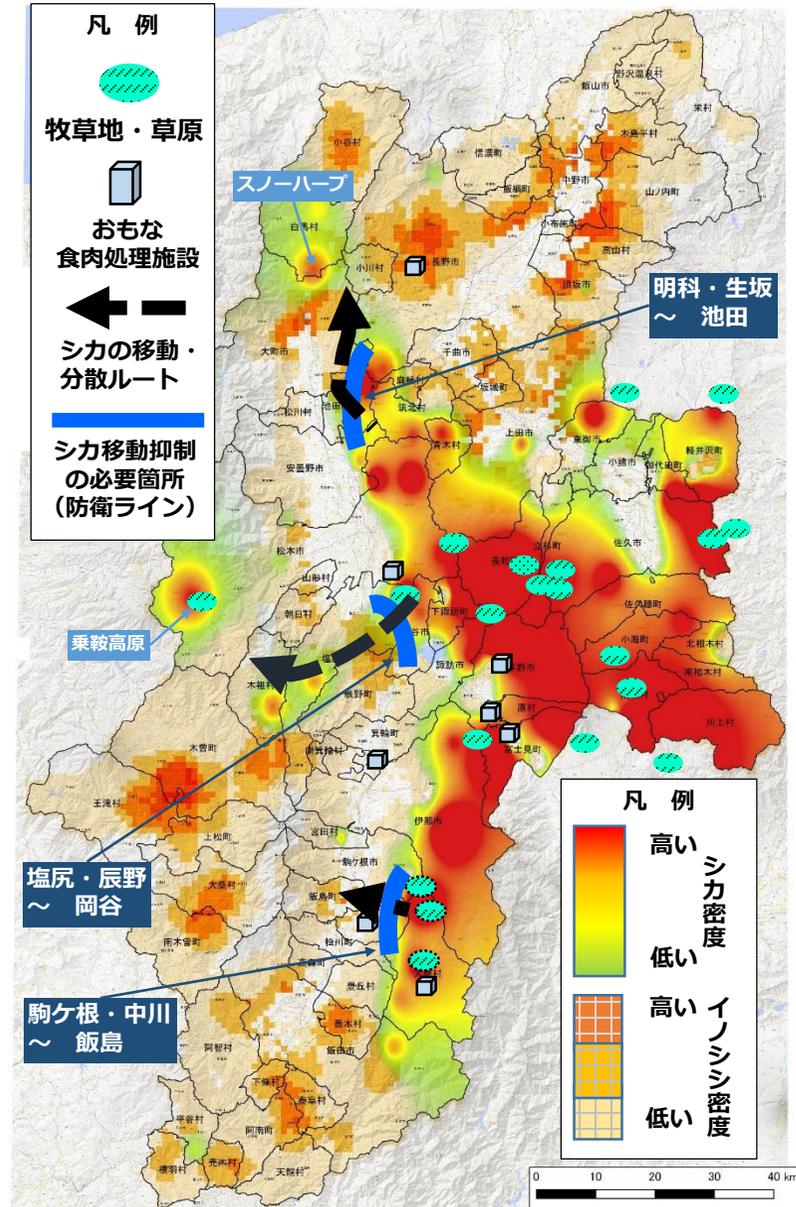
・ 野生鳥獣に関する感染症対策について情報収集及び調査の実施

・ 家畜衛生部局との連携・情報共有

・ 鳥インフルエンザや豚熱など新たな感染症を念頭に置いた対応

・ 家畜衛生部局等との連携・情報共有

■ ニホンジカ・イノシシの生息分布と密度



■ 生息環境に応じた捕獲対策 (バケツ模式図)



被害額に表れない被害

- ・ 高山植物の食害
- ・ 列車事故による遅延



【野生鳥獣を取り巻く現状】

- ◆ 生息域を広げるニホンジカ
- ◆ 野生動物と人の生活域の急速な接近
クマ、イノシシ、サル
- ◆ 減らない鳥類による被害
カラス、カワウ

【人口減少社会による担い手不足】

人口減少社会

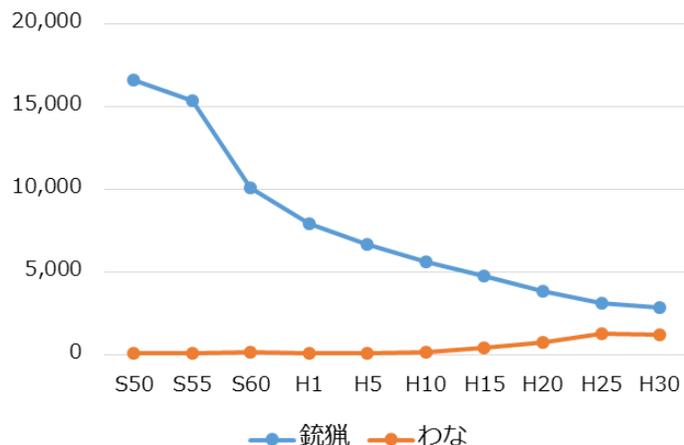
狩猟人口・狩猟文化の衰退

- ★ 技術の高い狩猟者の減少
- ★ 獣害対策に関する知識の衰退
野生動物の分布・行動把握
わなの仕掛け方

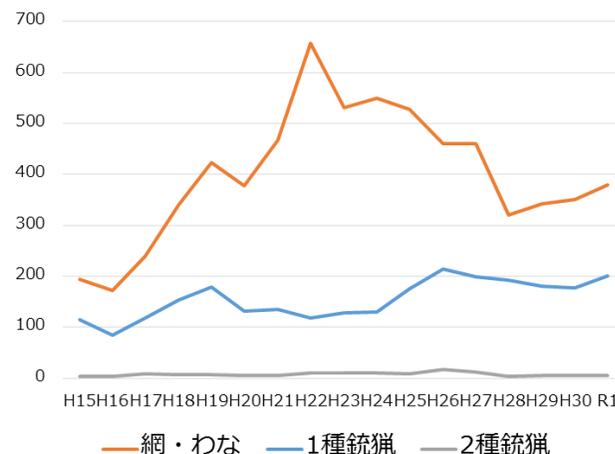
【必要な対策】

- 要所を見定めた駆除・個体群管理
(牧草地での誘引射撃ほか)
- 高度な銃猟技術
プレチャージ式空気銃の活用等
- 緩衝帯整備
- 鳥獣を誘因する餌の徹底除去
- 効果的な防除対策
(防護柵等)

免許種別の猟友会員数



免許別新規取得者数



高度な捕獲技術を有する
人材の育成

- ・長野県認定管理捕獲技術者
- ・情報発信拠点の整備